

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年10月26日時点)

▶ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設**に対する攻撃を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT8月18日)
: 死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT8月18日)
: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)
「ウ」市民: 死者9,701人以上、負傷者1万7,748人以上 (UNOCHA9月24日)

- 「ウ」軍第110機械化旅団報道官は、「露軍が**アウディウカ**付近で「ウ」軍陣地付近までのトンネルを掘り、急襲を準備している。また、露軍は、相当な重量を輸送可能な遠隔操作型車両を使用している」と指摘(10月21日)
- 「ウ」陸軍報道官は、「ウ」軍がクリシウカ及びアンドリウカ近傍で攻勢作戦を実施していると発言(10月24日)
- ショイグ露国防相は、「ウ」東部の露軍司令部を訪問し、**[太平洋艦隊隷下]第155海軍歩兵旅団**及び**[黒海艦隊隷下]第810海軍歩兵旅団の司令官ら**を表彰(10月25日)

- エストニア軍情報センター長は、**ロシア軍が依然として約400万発の砲弾を保有**しており、**1日1万発の使用ペース**で考えると今後1年は戦闘を継続できる能力を有していると指摘。また、**北朝鮮からロシアに供給されたとされる砲弾は1か月分に相当する30~35万発**と指摘(10月20日)

- ハルキウ州検察当局は、露ベルゴロド州から**ハルキウ州の物流会社ビルに露軍のミサイル2発**が撃ち込まれ、**6人が死亡**、16人が負傷と発表(10月22日)
- 「ウ」軍は、西部フメリニツキー州に飛来した**露軍無人機「Shahed-131/136」×11機**を撃墜したと発表。同攻撃に関してゼレンスキー大統領は、**原発を狙っていた可能性が高い**と指摘(10月25日)

- 米NYTは、「ウ」軍が**ドニプロ川東岸の露占領地域への急襲**を実施しており、同作戦には**英国での6か月の訓練**(渡河強襲、水陸両用作戦訓練を含む)を終えた**1,000人近くの「ウ」軍兵士**が参加していると報道(10月20日)
- BBCは、「ウ」軍第46旅団が**[ドニプロ川東岸の集落]クリンキー**掌握のため、**同正面で戦闘**している旨報道(10月22日)
- 米戦争研究所は、**ピドステプネ**[ドニプロ川東岸]北部の拠点まで「ウ」軍が**進出**していると指摘(10月23日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域



国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等